記載例 （技術の場合）

同一性確認チェックリスト／報告書

（規制技術・規制貨物を提供又は輸出する場合）

（輸管事務局経由）

安全保障輸出管理責任者　殿

※太枠内を記入し、輸出・提供前に、正）輸管事務局、写）輸出管理スーパーバイザー宛にメールで提出下さい。

チェック日	2012/12/1	TEL	1234
チェック者	名古屋　次郎	e-mail	Tnagoya@sangaku.nagoya-u.au.jp
提供者名	山田　二郎	所属	□□研究科　○○専攻

項目	内容	確認
件名	モンゴル国地質調査用超微量元素分析装置の輸出	
提供技術又は輸出貨物の名称（型番）	誘導結合プラズマ質量分析装置（Agilent ICP-MS 7700x）の取扱説明書（G3000 シリーズ用）	
仕向地（国名）	モンゴル	
部局における確認 ＜許可対象＞ □貨物　☑役務	1.取引審査票の承認を受けている。	☑はい／□いいえ
	2.以下の許可の適用可の確認を受けた。 □個別許可（事務局からの許可証の写し） ☑一般包括許可（適用申請書による確認）	☑はい／□いいえ
	3.該非判定は実施済である。	☑はい／□いいえ
	~~4. 次の通関用資料がある。（貨物のみ）~~ ~~□インボイス　□パッキングリスト~~	~~□はい／□いいえ~~
	~~※包括許可の場合該当項番・該当規定の記載がある。~~	~~□はい／□いいえ~~
	~~5. 通関業者への連絡用の書類（依頼書等）に記載された品名・型番・仕向地は正しい。~~	~~□はい／□いいえ~~
	~~6. 貨物の場合：上記 2、3、4 の資料と品名・型番・数量が一致している。~~	~~□はい／□いいえ~~
	7.技術の場合：上記 2 の資料の範囲内である。	☑はい／□いいえ
添付資料リスト （※保管文書） 注）添付は、コピーで可	☑取引審査票　（番号：　G000000189　） □個別許可証の写し（NO.＿＿＿＿＿＿＿） ☑一般包括許可の適用申請書 ☑該非判定書（捺印したもの） □インボイス　又は／及び　□パッキングリスト □通関業者へ連絡書（貨物の場合） ☑現品の写真（型番の分かるものを含む）	注）上記チェック欄に“いいえ”がないこと。 注）番号を記載した場合は、添付不要

注）
USB メモリや貨物に格納して通関する場合は、4.5.6 及び添付リストについてもチェックする。

使用する通関業者	名称	メールによる	利用者コード	―

貨物ど同時て通関業者を使用する場合は記入する（貨物例参照）

※以下記入不要（審査部門記入欄）

審査部門における確認欄	確認日	年　月　日	確認者	
□問題なし □右記内容確認し処置済み	（コメント欄）			